

平成 27 年度 施策評価シート

		作成日	H28.11.30
基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野2 人を大切に、人を守るまちづくり～	
政 策	2	協力し支え合う福祉の地域づくり	
基本方針	地域が一体となって地域福祉の課題を解決していくための施策を進め、住み慣れた地域で、安全に安心して暮らしていける地域住民の相互扶助を基本とした地域社会の形成に努めます。		

基本施策	1-2-2-①	安心できる地域福祉の環境づくり	
主管課名	福祉長寿課	所属長名	萬 屋 三 男
関係課名			
基本施策の評価			
<p>○介護保険事業計画、老人福祉計画、障がい者福祉計画の策定及び定期的な見直し</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <p>・平成26年度に策定した「老人福祉計画及び介護保険事業計画」において、在宅の高齢者の自立を支える高齢者福祉事業及び介護保険事業を核として、地域全体で高齢者を支援する活動を展開している。また、「障がい者福祉計画」についても平成26年度に策定し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援していくため、障がい者総合支援協会をはじめ、障害者サービス事業者等の関係機関と連携して活動を展開している。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・「老人福祉計画及び介護保険事業計画」については、毎年、介護保険事業計画作成委員会において計画の適切な進行管理及び評価を行っており、「障がい者福祉計画」については、障がい者総合支援協会を中心に、適切な進行管理及び評価を行っている。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・今後も引き続き、介護保険事業計画作成委員会及び障がい者総合支援協会において、次期計画策定に向け検証しながら見直しを進めていく。</p>			
<p>○社会福祉協会との連携強化、ボランティアの意義や重要性、実際の取り組みに関する情報発信、ボランティア意識高揚</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <p>・平成26年度に総合的な地域福祉の推進を図るため、「地域福祉計画」を策定しており、併せて民間の活動計画に位置づけられる地域福祉活動計画が策定しており、本年度は地域福祉計画策定会議を開催し、広範に福祉事業を展開する社会福祉協会をはじめ、各種団体等の意見をいただき、意見交換や情報共有を図り連携強化に努めた。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・過疎・高齢化が進む中であって、地域社会におけるボランティアをはじめとした住民活動はますます重要性を増している。社会福祉協会や地域の潜在能力を掘り起こす生活支援コーディネータとの連携を更に強化していく必要がある。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・地域福祉活動への参画を促すため、参加機会の提供の充実に努めるとともに、社会福祉協会を中心に、各関係機関等とのネットワーク化を図り、総合的な相談支援体制の強化や情報提供の充実を図っていく。</p>			

1 次評価

○地域住民との協働による、一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人の見守り活動の推進

■平成27年度の取組概要

・高齢者見守りネットワーク事業により、在宅の一人暮らしの高齢者等が地域から孤立することを防止すると共に、その異変を早期に発見して必要な援助を行い、保健・医療・福祉等の様々な課題に対する相談支援体制の充実を図っている。【登録者数：84名、見守り協力員：34名、協力事業所：102事業所】

■評価（問題点とその要因）

・高齢者見守りネットワーク事業については、高齢化が著しく進展していく一方で、高齢者を地域で支える担い手は減少していくことが予期されており、その対応は喫緊の課題となっているものの地域的な広がりを見るに至っていない。

■今後の取組方針

・高齢者見守りネットワーク事業は、高齢者等の生活の安否確認等、安心安全なまちづくりのためにも継続して行っていく必要があるため、全町における地域の実情に応じた高齢者の見守り体制のあり方について、地区役員会等での事業説明を積極的に行い、意識醸成を図りながら幅広い活用を目指していく。

○あらゆる学習機会を通じた相互扶助意識の啓発、地域で子どもを育てるという気運醸成

■平成27年度の取組概要

・各地区での公民館講座や地区敬老会において、伝統文化及び地域の特性を生かした講座等を実施しており、通じ同世代や世代を越えた交流により仲間の輪を広げ、地域における生涯学習の充実を図ることで、相互扶助意識の啓発活動を行っている。

■評価（問題点とその要因）

・ライフスタイルの変化、価値観の多様化等から、単身・核家族世帯が増加し、地域コミュニティは希薄となって、地域における相互扶助機能は低下しており、従来の地域コミュニティの存続が危ぶまれている状況である。

■今後の取組方針

・住民が抱える地域の暮らしの様々な困りごとに対して、地域住民全体のネットワークにより、身近な地域単位で解決できる仕組みづくりを進め、相互扶助意識の啓発とともに、子どもは「社会の宝」であるとの見地から、家庭だけでなく地域で子どもを育てる気運を高めることが求められているため、生涯学習をはじめとした各種取組がさらに身近になるように情報提供に努め、環境の整備を関係課等と連携して進めていく。

○バリアフリーなどのユニバーサルデザインのまちづくり推進

■平成27年度の取組概要

・高齢者等にとって歩行しやすい生活道ばかりでないため、高齢者等の生活をサポートするために「歩行支援のための手摺設置事業」を平成24年度から実施し、歩行環境の改善につとめている。現在24箇所を設置している。【平成27年度は設置実績無し】

■評価（問題点とその要因）

・個人を対象とした介護保険の住宅改修と差別化し、地区（自治会）が管理する公共物である判断として、私有地についての設置は認めてこなかったが、高齢化が進行する中、土地所有者の同意により、設置することに変更した。

■今後の取組方針

・高齢者等が現在の歩行能力を活かし、かつ安心・安全な生活支援のために「歩行支援のための手摺設置事業」は、生活に直結する事業であり、今後も継続すべきと考える。一方、介護保険制度の住宅改修事業との差別化する制度運用が今後とも必要である。

	<p>○要援護者などを災害発生時に地域住民と連携した避難誘導が可能となるような地域における支援体制の確立</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町防災計画に基づく避難行動要支援者避難支援プランを策定し、民生委員・児童委員協議会定例会や駐在員会議において当該プランの説明を行い避難支援についての協力を求めた。また、当該プランに基づく避難行動要支援者名簿への登録について、対象者への郵送、或いは広報誌、世帯回覧により周知を行うことで同意を求め、新たに同意を得た者のみを掲載した名簿を民生委員・児童委員及び郷長・区長・駐在員に提供した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者に対する支援については、避難行動要支援者避難支援プランの普及と自治会へ避難行動要支援者名簿を提供しているが、高齢化により支援者を確保しにくい状況にある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの地域も存在することから、支援者のいない避難行動要支援者に対する支援について、民生委員・児童委員及び郷長・区長・駐在員に加えて、消防団、社会福祉協議会にも協力を求め、避難支援者の配置に努める。
2次評価	<p>H27.3に策定した老人福祉計画及び第6期介護保険事業計画における高齢者施策の基本方針（地域包括ケアシステム構築のための取組、高齢者の生活支援の推進、高齢者の健康維持と積極的な社会参加の支援、介護サービスの充実）に沿って、引き続き関係機関等と連携し、地域全体で高齢者を支援する活動を展開しながら福祉環境の充実に努めていくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
しんかみごとう地域福祉計画策定・見直し	目標	-	-	-	-	第3次計画策定	-
	実績	平成25年度策定	策定会議 H28.2.9 開催	-	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	-	-	-	-
老人福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定・見直し	目標	計画策定 進捗検証	第6期計画 進捗検証	第6期計画 進捗検証	第7期計画 策定	第7期計画 進捗検証	第7期計画 進捗検証
	実績	平成26年度策定	H27.6.24 開催	-	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	-	-	-	-
障がい者計画及び障がい者福祉計画策定・見直し	目標	-	-	-	第3期及び 第5期計画 策定	-	-
	実績	平成26年度策定	-	-	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 新上五島町買い物支援事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 高齢者等の日常生活の支援策として、食品・日用品の買い物などで手助けを必要としている高齢者等を対象に、登録事業所による商品の配達を行うことによって、高齢者への利便性の向上を図り、また訪問の際に声をかけるなどの見守りを行うことで、安否確認にも寄与する。</p> <p>(事業概要) 電話また訪問によって、登録者から配達事業者が食料品、日用品を受注し、その商品を自宅まで届け、商品受領のサインの記入・印鑑押印を行う。併せて商品の受領時に安否確認を行う。</p>	実施年度	平成24年度～	
		成果指標	登録者	
		目標値	200名	
		実績値	218名	
		達成率	109%	
		決算（見込）額	252千円	
		当該年度執行率	81%	
		成果指標及び目標値の説明	<p>登録者…自宅から出て買い物に行くことが困難な高齢者等、いわゆる買い物弱者を「登録者」という。</p> <p>200名（目標値）…成果指標に掲げた登録者数。</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 目標は達成できている。</p> <p>(成果・課題等) 目標は達成できているものの、今後も対象となる高齢者の利用拡大に向けて取り組む必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
2	<p>(事業名) 社会福祉協議会補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 高齢者、障害者、母子家庭等が安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現等という社会福祉協議会設置の目的に沿って、取り組まれている各種の福祉事業が、円滑、安定的に実施できるように、その活動費の一部に対し補助金を交付する。</p> <p>(事業概要) 町民の地域福祉の向上のための広範な活動している社会福祉協議会の法人運営事業等に対し、補助を行った。 (主な事業) ・法人運営費補助 ・心配ごと相談所事業補助 ・地域福祉権利擁護事業</p>	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	参加者数	
		目標値	4,360名	
		実績値	4,044名	
		達成率	92.8%	
		決算（見込）額	71,526千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	<p>社会福祉協議会が行っている各種の福祉サービスなど様々な活動が円滑にできるよう、以下のサービスの参加者数を指標としている。</p> <p>平成26年度実績 4,360名 ・高齢者等支援事業（参加総数） 4,221名 ・心配ごと相談所事業（相談件数） 65名 ・地域福祉権利擁護（訪問調査回数） 74名</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・高齢者等支援事業 3,921名 ・心配ごと相談所事業 29名 ・地域福祉権利擁護 94名</p> <p>(成果・課題等) 高齢化が著しい本町において、サービスが多様化しており、益々、社会福祉協議会の存在が必要不可欠なものとなっている。地域福祉を推進していく上で施設が老朽化しており、本来の役割が果たせなくなる可能性がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) 遺族会補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 遺族団体に補助を行うことで、町の慰霊祭の交通費助成や慰霊碑の適正な管理及び遺族の相互扶助を促進することを目的とする。</p> <p>(事業概要) 新上五島町連合遺族会、5地区遺族会が行う戦没者追悼式式典、軍人墓地清掃等の運営事業に対して補助を行う。</p>	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	遺族会員数	
		目標値	594名	
		実績値	544名	
		達成率	91.6%	
		決算（見込）額	878千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	5つの遺族会の会員数を成果指標としている。前年の会員数を目標値としている。 5地区の会員数 正会員（7名）→4名、準会員(587名)→540名 ※正会員：戦死者の親、妻 準会員：子などそれ以外	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 遺族会の活動に対し補助金を交付した。遺族会の弔慰活動等を支援することで、平和の尊さへの再認識が図られた。 (成果・課題等) 遺族会の高齢化が進み、会員ばなれや活動低下を招いているため、会のあり方について、中期的な検討が必要と思われる。	(取組実績) (成果・課題等)		
4	<p>(事業名) 民生委員・児童委員協議会補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 民生委員・児童委員が社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努める活動ができるよう、その職務に関して必要な知識及び技術を修得する。</p> <p>(事業概要) 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉増進のためにあらゆる分野で住民の福祉向上のために協力をいただいている。この活動費の一部について補助金を交付する。</p>	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	活動件数	
		目標値	61,851件	
		実績値	62,820件	
		達成率	101.6%	
		決算（見込）額	7,610千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	民生委員・児童委員協議会（委員数97人）の活動（相談・支援、その他の活動、訪問、連絡調整）件数を成果指標とし、前年度の活動件数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 相談・支援5,504件、その他の活動9,902件、訪問37,588件、連絡調整9,826件の活動を行った。 (成果・課題等) 年々、活動日数は増える傾向にある。一方、過疎・高齢化により、民生委員のなり手不足、委員の高齢化が慢性的にある。	(取組実績) (成果・課題等)		

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	<p>(事業名) 地域福祉活動補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として「青空ふれあいの広場」を開設し、その中で「生きがい活動事業」「つどいの広場事業」を実施し、地域の高齢者福祉及び児童福祉の増進に努め、地域活力の醸成を図る。</p> <p>(事業概要) 仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが幅広く集う場として福祉増進を図る。 ①つどいの広場事業 ②生きがい活動事業</p>	実施年度	平成19年度～	
		成果指標	利用登録者数	
		目標値	33人	
		実績値	33人	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	4,707千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	利用登録者数…月曜から金曜までを地域ごとに分けて、利用登録高齢者に生きがい活動事業を実施している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>地域住民のニーズに沿い、地域の子どもから高齢者を巻き込んだ集いの広場として、月曜から金曜までを地域毎に分けて、地域に定着した福祉活動が展開された。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>高齢者を中心としたさまざまな行事が展開されているが、今後に向けた事業の維持存続のために、幅広い関係機関との連携や事業協力が必要となってくる。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
6	<p>(事業名) 奈良尾地域福祉センターしおさい空調設備改修事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 老朽化した地域福祉センターの改修を行い、町内の高齢者に対して各種福祉サービスや生きがいづくり等の拠点として地域福祉の向上を図る。</p> <p>(事業概要) 空調機をマルチ型からセパレート型へ取替え パッケージエアコン5台 配線工事1.0式</p>	実施年度	平成26年度～平成27年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	100%	
		実績値	100%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	5,595千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>計画どおり5台の空調機を取替えを行った。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>建設から20年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要となってくる。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		